

福島市内・県北 HOMETOWN

趣ある店内で昼食を楽しむ参加者ら「四季養房八夢」



社内を見学する参加者ら＝テレビビュー福島



新鮮な野菜を買い求める参加者ら「エコー農場店」

福島県の企業・事業所訪問

県北地方の企業などを訪ね、地元産の産物に理解を深める「女性のための社会科教室」が30日、開かれた。参加者40人が福島市内5つの企業や事業所を訪問し、さまざまな産物に理解を深めた。

食の安全確保説明

「JAくしま未来の農産物直売所」で、吾妻店では、食の旬みや課題上での落下物回収を想定した訓練を見学、発災簡の使用の確保に向けた取り組みなどを説明。参加者は野菜などの買い物も楽しんだ。

テレビ放送見学

「テレビエト福島」では、編成部の加藤正宏さんが社内案内。参加者は情報番組「げんきんチェック」の概要を説明。展望デッキからは広大な敷地に並ぶ太陽光発電パネルが一望でき、見学し、放送がテレビに映るまでの流れを学んだ。

「エコーハウス」が運営する「くしまくしえねパーク」では、相良元章社長が事業概要を説明。展望デッキからは広大な敷地に並ぶ太陽光発電パネルが一望でき、参加者が眺望を楽しんだ。

太陽光パネル一望

「エコーハウス」が運営する「くしまくしえねパーク」では、相良元章社長が事業概要を説明。展望デッキからは広大な敷地に並ぶ太陽光発電パネルが一望でき、参加者が眺望を楽しんだ。

発災簡使い方学習が

創作懐石を味わった。参加者は古民家を改装した同店の趣を楽しみながら、創作懐石の昼食に舌鼓を打った。

女性のための社会科教室

相良社長(右)から説明を受ける参加者ら「くしまくしえねパーク」



発災簡の使い方学習に参加者ら「エコー日本福島管理事務所」

